

## 令和 2 年度事業実績

## 1 稼働状況

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	R 元→R2 増減
総延入院患者数	150,454 人	153,031 人	140,083 人	▲12,948 人
新入院患者数	13,845 人	14,112 人	13,211 人	▲901 人
全病床利用率	78.5%	79.6%	73.1%	▲6.5%
一般病床利用率	84.8%	86.2%	79.5%	▲6.7%
平均在院日数	9.9 日	9.9 日	9.6 日	▲0.3 日
総外来患者数	226,671 人	219,254 人	206,581 人	▲12,673 人
新外来患者数	20,970 人	20,441 人	17,821 人	▲2,620 人
入院患者 1 人 1 日当り診療単価	72,894 円	71,342 円	73,326 円	1,984 円
外来患者 1 人 1 日当り診療単価	14,472 円	16,940 円	18,362 円	1,422 円
手術件数	4,826 件	5,072 件	4,635 件	▲437 件
分娩件数	1,005 件	1,000 件	969 件	▲31 件
重症度, 医療・看護必要度	33.9%	34.0%	37.8%	3.8%
紹介率	78.3%	75.8%	76.4%	0.6%
逆紹介率	86.1%	85.5%	89.6%	4.1%

○患者数については、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えにより、入院・外来患者数ともに前年度を下回った。

○入院患者 1 人 1 日当り診療単価は、急性期医療の提供体制充実による診療報酬の加算取得などにより、前年度を上回った。外来患者 1 人 1 日当り診療単価については、放射線治療や化学療法(抗がん剤)に積極的に取り組んだことにより、前年度を上回った。

○手術件数については、前年度より減少した。

○重症度、医療・看護必要度については、前年度を上回った。

## 2 救命救急センターの受入れ状況

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	R 元→R2 増減
救急患者受入れ数	15,210 人	14,719 人	13,574 人	▲1,145 人
うち入院患者数	5,672 人	5,712 人	5,612 人	▲100 人
救急車搬送患者受入れ数	6,896 人	7,255 人	6,916 人	▲339 人

○新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えにより、救急患者受入れ数・入院患者数ともに減少した。

○救急車で搬送された患者の受入れ数は減少したが、前年度に引き続き、119 番・救急隊からの依頼を積極的に受け入れる体制を継続した。

### 3 数値目標を設定した項目に係る実績

#### 【戦略Ⅰ】 これからのニーズを踏まえた医療提供体制の充実

	実績			令和2年度	
	令和元年度	令和2年度	R1→R2 増減	改革プラン 目標値	経営計画 目標値
手術件数(手術センター分)	5,072 件	4,635 件	▲437 件	5,000 件	--
分娩件数(再掲)	1,000 件	969 件	▲31 件	990 件	990 件
臨床研修医受入れ数	31 人	32 人	1 人	34 人	--
救急患者受入れ数(再掲)	14,719 人	13,574 人	▲1,145 人	15,500 人	15,695 人
救急車搬送患者受入れ数(再掲)	7,255 人	6,916 人	▲339 人	6,200 人	6,935 人
救命コール受入れ数	657 件	518 件	▲139 件	480 件	612 件

○手術件数については、新型コロナウイルス感染症の影響で不要不急の手術を延期するなどの対応により前年度を下回り、プランの目標件数に達しなかった。

○分娩件数については、前年度を下回り、プランの目標件数に達しなかった。

○救命コール(重症度・緊急度が高いと判断される場合、救急隊の出動要請と同時に、消防本部から個々の医療機関に対し収容を依頼するもの)受入れ数については、前年度を下回ったが、プランの目標件数を達成した。

#### 【戦略Ⅱ】 地域の医療機関から信頼され、市民に選ばれる病院づくり

	実績			令和2年度	
	令和元年度	令和2年度	R1→R2 増減	改革プラン 目標値	経営計画 目標値
紹介率(再掲)	75.8%	76.4%	0.6%	78.0%	81.0%
逆紹介率(再掲)	85.5%	89.6%	4.1%	78.0%	83.0%
紹介元医療機関数	1,406 件	1,291 件	▲115 件	1,450 件	--
紹介先医療機関数	1,829 件	1,623 件	▲206 件	1,540 件	--
病院・開業医からの救急患者 受入応需率	81.6%	84.2%	2.6%	80.0%	80.0%

○紹介率については、前年度を上回ったがプランの目標値に達しなかった。逆紹介率については、前年度を上回り、プラン目標値を達成した。

○病院・開業医からの救急患者受入応需率については前年度を上回り、プランの目標値を達成した。

**【戦略Ⅲ】市立病院を必要とする患者さんを速やかに受け入れる体制の構築**

	実績			令和2年度	
	令和元年度	令和2年度	R1→R2 増減	改革プラン 目標値	経営計画 目標値
1日当り入院患者数	418人	384人	▲34人	428人	435人
月平均新入院患者数	1,176人	1,101人	▲75人	1,220人	1,158人
一般病床利用率	86.1%	79.6%	▲6.5%	88.4%	88.4%
1日当り外来患者数	894人	839人	▲55人	900人	887人
月平均新外来患者数	1,703人	1,485人	▲218人	1,910人	1,775人

○月平均新入院患者数については、新型コロナウイルス感染症の影響による患者数の減少により、前年度を下回り、患者が減少した主な診療科は小児科、脳神経内科、整形外科であった。

○月平均新外来患者数については、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えにより、前年度を下回り、患者が減少した主な診療科は眼科、小児科、整形外科であった。

**【戦略Ⅳ】収益アップ・コスト縮減両面に亘る経営改善策の徹底**

	実績			改革プラン2017及び 経営計画2018年度～ 2020年度【2021延長版】 目標値	
	令和元年度	令和2年度	R元→R2 増減	令和2年度 改革プラン	令和3年度 経営計画
経常収支比率	93.8%	100.5%	6.7%	94.4%	93.5%
医業収支比率	90.3%	87.5%	▲2.8%	91.0%	91.4%
職員給与費対医業収益比率(※) (会計年度任用職員を含まない場合)	55.8%	63.9% (57.4%)	8.1% (1.6%)	56.6%	60.9%
100床当り職員数(※) (会計年度任用職員を含まない場合)	165人	221人 (168人)	56人 (3人)	172人	--
診療材料費対医業収益比率	10.5%	11.0%	0.5%	11.7%	--
薬品費対医業収益比率	9.9%	10.9%	1.0%	8.2%	--
経費対医業収益比率(※) (会計年度任用職員を含む場合)	20.9%	16.2% (22.7%)	▲4.7% (1.8%)	21.6%	--
後発医薬品使用割合	90.0%	89.6%	▲0.4%	80.0%	--

○医業収支比率は前年度を下回ったが、医業外収益の増加により、経常収支比率は前年度を上回った。

○後発医薬品使用割合は前年度を下回ったものの、引き続き積極的な採用に努めたことから、目標値を上回った。

(※)令和2年度から会計年度任用職員制度が導入されたため、前年度と比べた増減が大きくなっている。